



はたらく、たべる、くらす、まなぶで
誇りを持ち、住み続けられるまちに

11月28日、小坂^{たかね}市長の3期目となる市政運営がスタートしました。
3期目の主な政策を紹介します。



市ウェブサイト
所信表明



広報えなを
手話で読む

はたらく

働くことは、これからも
恵那で暮らし続ける上で最
も関心のあることの一つで
す。

恵那で生まれ育った子ど
もたちがここで幸せに働け
る環境が求められています。
働くことと暮らしの両立も
課題です。

「はたらく」を考えること
は、まちの存続を考えるこ
ともいえます。

社会の変化とともに働く
意味や姿も変わる中、それ
ぞれが望む働く姿を手にす
ることができるよう、施策
と事業を進めます。



たべる

私たちの暮らしの中心は
「たべる」ことです。家族
団らんの象徴は「食卓を囲
む」であり、仕事をするこ
とは「食べていく」といい
ます。生きていく上で、食
を切り離すことはできませ
ん。

食に恵まれたまちは魅力
的で、多くの人を惹きつけ
ます。

恵那の食が持つ無限の可
能性をまわりの中心に
置き、「たべる」ことから
健康、農業、産業、観光
文化に視点を広げ、施策と
事業を考えます。



これまでの取り組み

- ①^{ほおばずし}朴葉寿司などの郷土食を生かす取り組みが進む
- ②地域に根差す発酵食に注目し、発酵を学んだ方を「発酵食品ソムリエ」として認定。全国発酵食品サミットも開催された
- ③五平餅、栗などの特産品を生かすイベントが始まった
- ④地産地消とSDGsに取り組む事業者を支援する「恵那ふうど認証」制度が始まった
- ⑤恵那産の食材をふんだんに取り入れた毎月の「えないっぱい給食」は子どもたちに人気。学校給食からも地産地消に取り組んでいる
- ⑥えなえーるでの「食育の日」イベントでは、食から健康づくりに取り組む



これからの主な取り組み

- 交流と連携で元気になる
地域の特産品を活用した五平フェスや栗フェス、朴葉寿司まつりなどの開催を引き続き支援します。
高付加価値な食を求めて多くの人が訪れるよう、食のブランディングを推進します。

- 持続可能型の社会をつくる
地産地消による地域循環を推進します。
- いきいきと暮らす
恵那産食材を使用した学校給食を安価に提供します。
健康づくりや、食に関わる団体を支援するなど、食を中心としたまちづくりに取り組みます。

これまでの取り組み

- ①恵那西工業団地3区画を整備。2区画は進出企業が決定した
- ②商店街が中心となって開催する恵那まちなか市は、季節ごとの開催が定着した
- ③市プレミアム付き商品券には電子版も登場した
- ④恵那くらしビジネスサポートセンターでは、起業や経営の相談やアドバイスを行う
- ⑤産業EXPOでは、子どもたちがさまざまな仕事を体験し、働くことを考えた
- ⑥世界から選ばれる旅先となることが期待される岐阜未来遺産に、岩村町の山城と城下町、農村景観が認定された
- ⑦WRC世界ラリー選手権ではラリーカーが市内を走行する様子が世界中に発信された



これからの主な取り組み

- 産業の育成・支援
恵那西工業団地の残り1区画の誘致と新たな工業団地の整備を進め、さらなる雇用の創出につなげます。
市街地や商店街の活性化を図るため、空き店舗対策などに取り組みます。

- 交流と連携
自然や環境を生かした世界基準の観光地づくりと、インバウンド誘客を図ります。
- 安心して働ける
誰もが生きがいを持って働き続けられるよう、新たな働き方を創出します。



まなぶ

自らが望む学びの機会を手にすること、新しい学びがいつも自分の手の中にあることは、まちの未来を考える上でとても重要です。私たちが住むこの恵那を理解することは、恵那を好きになることにつながっています。まちを支える一人一人の気持ちを理解することは、次の時代を支える人を育てることになるはずです。学ぶことを多面的、多角的に捉え、施策と事業を進めます。

これまでの取り組み

- ①小・中学校では、ICTを活用した授業が日常的に行われている
- ②園、小・中学校の全教室にエアコンを設置。体育館のエアコンは災害時にも活用できる
- ③園でも積極的に読書活動に取り組んでいる
- ④令和8年4月に向け、恵那南中学校の開校準備が進む（校舎イメージ）
- ⑤パロー恵那ショッピングセンター2階に恵那未来キャンパスを整備した
- ⑥新たな学びの形を追求するため、オンライン大学との連携協定を締結した
- ⑦ポーランド共和国との交流が発展し、日本美術技術博物館マンガと中山道広重美術館が友好協力協定を締結した



これからの主な取り組み

■いきいきと暮らす

引き続き災害に強いエアコンの設置を進めるとともに、恵那南中学校開校に向け、着実に準備を進めます。旧岩村振興事務所を活用した先人顕彰拠点施設と市立図書館のサテライト施設の整備を進めます。

■みんなでまちをつくる

多様な学びの機会に触れられる学習拠点施設の充実を図ります。恵那未来キャンパスの活用など、さまざまな学びの場を提供することで、世代を越えて学ぶ喜びを実感できるまちをつくります。



くらす

激甚化する災害やいつ起こるか分からない大地震、夏の猛暑などから暮らしを守るとともに、リニア開通を見据え計画的に基盤整備を行う必要があります。変わりつつある家族の形や地域とのつながりに柔軟に対応できる、まちの包容力も求められています。恵那に暮らすことの喜びを、次の世代にも引き継いでいけるような施策と事業に取り組めます。

これまでの取り組み

- ①防災キャンプでは、子どもたちが体験を通じて防災を学んだ
- ②18歳年度末までの医療費無償化などに加え、新たに子育て支援パッケージとして11項目の事業を開始した
- ③市街地の中央公園をリニューアルするとともに、市内4カ所に地域公園を整備した
- ④自主運行バスやシェアサイクル、高齢者への交通利用チケットなどで、暮らしを支援した
- ⑤リニア中央新幹線の工事が開始され、リニアまちづくり計画の事業化に着手した
- ⑥移住定住支援メニューの充実により、月刊誌「田舎暮らしの本」住みたい田舎ランキングで全国1位を獲得した（3万～5万人未満の市部門）



これからの主な取り組み

■安心して暮らす

出産費用の支援などの子育て支援メニューの拡充と、福祉の拠点づくりの検討を進めます。

■まちの魅力を高める

子育て支援のため、公園などの整備を進めます。

■まちを元気にする

恵那峡S AスマートICの設置や瑞浪恵那道路の開通など、リニア開通を見据えた基盤整備を進めます。

■生命と財産を守る

住宅の耐震化などの安全対策と、計画的なインフラ整備を進め、安全で快適な住宅環境を提供します。